

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年02月18日

計画の名称	市街地の整備・再生による居住環境の向上と防災性の確保											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	名古屋市											
計画の目標	名古屋市において都市基盤の整備が不十分な地域や、都市機能の更新が必要な地域において、土地区画整理事業や市街地再開発事業等により市街地の整備・再生に取り組むことにより、居住環境の向上と防災性の確保を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,608	A	1,608	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	緊急車両到達不能筆数の減少を図る(市施行土地区画整理事業、街路事業) 緊急車両到達不能筆数(緊急車両の到達不能な宅地の筆数を把握する)	63筆	筆	28筆
2	老朽家屋の減少を図る(市街地再開発事業) 老朽家屋敷地率(市街地再開発事業区域内の老朽家屋敷地面積の割合を把握する) (老朽家屋敷地率 = 老朽家屋敷地面積 / 計画当初の未整備区域内の建物敷地面積)	57%	%	0%
3	地区内人口の増加(組合施行土地区画整理事業) 地区内増加人口数(毎年4月1日付で公表される人口数を把握する)	18005人	人	20546人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	名古屋市	直接	名古屋市	-	-	大曽根北土地区画整理事業	都市再生区画整理 30.0ha	名古屋市						188	-	
		本要素事業は事業種別「都再区画」として実施																	
	A13-002	市街地	一般	名古屋市	直接	名古屋市	-	-	葵土地区画整理事業	都市再生区画整理 9.7ha	名古屋市						227	-	
		本要素事業は事業種別「都再区画」として実施																	
	A13-003	市街地	一般	名古屋市	直接	名古屋市	-	-	大高駅前土地区画整理事業	都市再生区画整理 9.7ha	名古屋市						190	-	
		本要素事業は事業種別「都再区画」として実施																	
	A13-004	市街地	一般	名古屋市	直接	名古屋市	-	-	鳴海駅前市街地再開発事業	商業、住宅等 3.2ha	名古屋市						19	-	
		本要素事業は事業種別「再開発」として実施																	
											小計						624		
道路事業	A01-005	街路	一般	名古屋市	直接	名古屋市	-	改築	鳴海駅前地区(古鳴海停車場線外)	再開発 3.2ha	名古屋市						355	-	
		本要素事業は種別1「再開発」として実施																	
	A01-006	街路	一般	名古屋市	直接	名古屋市	S街路	改築	大高町線街路事業	街路築造 L=14m	名古屋市						60	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	街路	一般	名古屋市	間接	上志段味特 定土地区画 整理組合	区画	改築	上志段味地区(上志段味 線外)	194.9ha	名古屋市						89	-	
	A01-008	街路	一般	名古屋市	間接	上志段味特 定土地区画 整理組合	区画	改築	上志段味地区(志段味田 代町線外)	194.9ha	名古屋市						219	-	
	A01-009	街路	一般	名古屋市	間接	茶屋新田土 地区画整理 組合	区画	改築	茶屋新田地区(戸田荒子 線)	147.5ha	名古屋市						140	-	
	A01-010	街路	一般	名古屋市	間接	茶屋新田土 地区画整理 組合	区画	改築	茶屋新田地区(南秋葉線 外)	147.5ha	名古屋市						121	-	
	A01-011	街路	一般	名古屋市	間接	中志段味特 定土地区画 整理組合	区画	改築	中志段味地区(志段味田 代町線外)	147.7ha	名古屋市						0	-	



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 名古屋市	事後評価の実施時期 令和7年8月～11月
	公表の方法 名古屋市HP上にて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市施行の土地区画整理事業で建物移転等を進め、4メートル未満の狭い道路に接する宅地を減らすことで、緊急車両の進入が可能となり、延焼防止効果の期待が高まるとともに、住宅の密集状況の改善により、地区における防災性が向上した。</li> <li>・市街地再開発事業で用地を取得したことに伴い、木造の老朽家屋が撤去（減少）されてきたことで居住環境の改善が図られ、地区の防災性が向上した。</li> <li>・組合施行の土地区画整理事業で道路や公園等の都市基盤の整備を推進することで、宅地供給の促進や商業施設の出店により良好な居住環境が形成され、地区内人口の増加が図られた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葵・大曽根北地区においては、道路の整備が完了したことにより、事業の重要な節目である換地処分の実施または見込みが立ったことから、事業の進捗に大きく寄与した。</li> <li>・市街地再開発事業により未整備区域内の用地を取得したことで施設建築物の整備に向けた準備を進めることが可能となった。</li> <li>・上志段味地区では、若い世代の人口増加に伴い、小学校が新設され、中学校も令和8年度に新設予定であり、公共施設の整備に貢献した。</li> <li>・市施行の土地区画整理事業により公園が整備されたことで、災害時における避難場所の確保ができ、また地域住民の活動場所となり、地域コミュニティが形成された。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市施行の土地区画整理事業については、引き続き粘り強く移転交渉を行い道路の整備など事業を推進することにより、狭あい道路の解消など防災性の向上を図る。</li> <li>・街路事業については、隣接施行の大高駅前土地区画整理事業と歩調を合わせながら大高町線の整備を完了し、交通安全性や防災性の向上を図る。</li> <li>・市街地再開発事業については、粘り強く交渉を続け、用地取得に努めるとともに、未整備の道路及び施設建設物の整備に向けた準備を進め、引き続き土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る。</li> <li>・組合施行の土地区画整理事業については、粘り強く移転交渉を行うとともに、道路や公園等の整備推進により事業完了を目指し、宅地利用を増進し居住環境の向上を図る。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	28筆	建物移転や道路整備を進めたことにより、4m未満の狭あい道路に接する宅地を減少させ、一定程度は良好な都市基盤の整備を進めることができた。しかし、一部の権利者との交渉がまとまらず建物移転が遅れたため、道路整備が遅れ、目標の達成には至らなかった。
	最終実績値	37筆	
2	最終目標値	0%	粘り強く交渉を続けてきたことにより、合意が図れて用地取得ができたが、残り少ない権利者とは交渉がまとまらず用地取得が一部遅れたため、目標達成には至らなかった。
	最終実績値	34%	
3	最終目標値	20546人	建物移転や道路整備の進捗により、良好な都市基盤の整備を進めることができ、おおむね目標が達成された。
	最終実績値	20506人	